

一般会計予算を可決!!

予算常任委員会報告

委員長 大西 則宏

予算常任委員会に付託された「令和3年度能勢町一般会計予算」について、3月10日、11日、15日、16日に委員会を開催し内容を審議しました。まず、予算に対し組み替えを求める動議について採決をおこない、賛成少数で否決すべきものと決定しました。次に、原案について採決をおこない、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	太田 祐介	平田 要	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	大西 則宏
○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

総務部 (総務課・住民課・自治防災課)、出納室、議会事務局

問 地域おこし協力隊の取組み、新電力会社の状況と地域内再生エネルギーの取組みを問う。また、電力取引所価格が高騰するなかで、新電力会社の経営継続をどのように考えるのか。

答 昨年10月以来、27公共施設に電力を供給している(高圧8施設、低圧19施設)。民間事業者、一般家庭への供給は、会社において令和3年度から取り組む。能勢町内において再生エネルギー生産はないが、今後、再生エネルギー割合を高めていく。地域おこし協力隊については、電力販売収益をもとに運営していくが、関連する国補助金も活用し地域団体・地域エネルギー会社と連携してまちづくりを進める。過疎化解消が事業目的の一つであるため、地域おこし協力隊員に将来能勢町に定住してもらうことも事業成果であると考えている。
また、電力取引所価格は安定してきているが、会社独自の電力確保も見すえて取り組む。

問 持続可能な公共交通ネットワークの再構築、地方バス路線維持費補助金4560万円、地域公共交通会議の取組み、免許返納者など自家用車等の移手段を持たない方の不安解消対策、新交通システムの住民周知について説明を求める。

答 減便については、協議により事業者が当初予定していた大幅な減便を緩和し、昼間運行を確保するため今年度当初予算に1000万円上積みした予算計上となった。一般会計における地方バス路線維持費補助金の割合は1パーセントを超え、これ以上補助を増やすとバス利用以外の住民サービスに影響するため、慎重に検討したものである。不安解消対策については、住民アンケートの結果も反映させ減便もあわせて丁寧な住民周知に努める。

問 豊中市消防署をはじめとする防災の広域連携について問う。

答 3市2町による合同防災訓練、近隣消防署との応援協定、能勢町消防団との連携により防災に努めている。

健康福祉部 (福祉課・健康増進課)

問 令和3年度福祉関連予算の執行にあたり、第4次地域福祉計画をどのように反映させていくのか。

答 コロナ禍による見守り活動の制限もあろうかと考えられるが、第4次地域福祉計画の理念である「ふれあいと生きがいのあるまちのせ～助け愛、支え愛による地域福祉力の向上」を基本に、地域住民の皆さん、社会福祉協議会等と連携し地域共生社会の実現をめざす。

問 子育て家庭教育支援事業・アウトリーチ型家庭訪問事業は、子どもや家庭の支援に大きく寄与していると考えますが、コロナ禍における令和3年度の実施方針は。

答 コロナ禍においては、訪問対象者の意向を事前に確認したうえで訪問活動を実施し、子育てに対する不安解消等の相談に対応できる体制で事業を継続していく。

問 子ども・家庭支援コーディネーター事業の実施内容について問う。

答 心理判定員・保健師の小学校・放課後児童クラブへの巡回相談により家庭内の状況を把握し、小学校等と情報共有して不安解消などの家庭支援につなげていく。